

里見泰穩先生略年譜

明治四十二年三月二十日

長崎県下県郡鶏知村字鶏知（現美津島町鶏知）
に於て大柳盛造・ヤヲの四男として生る

大正四年四月 雞鳴尋常高等小学校入学

大正十年四月 長崎県立対馬中学校（現対馬高等学校）入学

大正十一年五月 長崎県下県郡厳原町国昌寺住職里見泰壽について待度しついで養子となる

る

昭和二年四月 立正大学入学

昭和八年三月 立正大学宗教学科卒業

全 年四月 全研究科入学（日蓮宗内地留學生）

昭和十五年四月 祖山学院助教授

全 十六年四月 身延山専門学校助教授 祖山中学教諭

論

全 十八年十月 身延山専門学校教授

全 二十三年四月 身延山高校教諭

全 二十五年四月 身延山短期大学教授

全 二十七年四月 身延山高等学校校長

昭和五十一年四月 身延山短期大学学頭
全 五十四年五月 教育功勞者として文部大臣表彰

◇ 著 書

宗教哲学名著解説 昭和十五年十二月

東京神田 三笠書房

（樺俊雄・波多野通敏・守屋貫教・里見泰穩共著）

執筆内容

スピノザ「エティカ」

ライブニッツ「弁神論」

カント「宗教論」

ヘーゲル「宗教哲学」

シュライエルマッヘル「宗教論」

南無妙法蓮華經の哲学 昭和二十六年四月一日

身延山久遠寺

◇ 學術論文

仏教に於ける「時間」の概念（友松円諦主幹仏教第二卷

第三号）

昭和十一年三月

ヘーゲルの宗教哲学（棲神第二六号）

仏教の時間論（於東北大学 日本仏教学大会）

昭和十七年十一月

仏教の自然観（棲神第二十八号）

昭和十八年六月

中論に於ける論理の性格（望月歆厚先生 古稀記念論文

集）

昭和二十六年十一月八日

有部に於ける存在の概念（棲神復刊第一号）

昭和二十八年八月

三世について（棲神三七号）

昭和三十四年十二月

仏教の時間否定について（印度学仏教学研究九一一）

昭和三十六年一月

吉蔵の法華経解釈——法雲批判を中心として——（坂本幸男

編「法華経の思想と文化」所収）

昭和四十年三月

七面信仰の系譜と展開（望月歆厚編「近代日本の法華仏

教」所収）

昭和四十三年二月

吉蔵の法華経玄論について（坂本幸男編「法華経の中国

的展開」所収）

昭和四十七年三月

中論観因縁品の記号論理学的考察（棲神四五号）

昭和四十八年二月

「仏教時間論」雑考（棲神四六号）

昭和四十九年三月

日蓮宗と俗信仰との交渉（影山堯雄編「中世法華仏教の

展開」所収）

昭和四十九年九月

中論観去来品について（棲神四七号）

昭和五十年三月

近世法華仏教における仏教研究の態度（宮崎英修編「近

世法華仏教の展開」所収）

昭和五十三年三月

曼荼羅（Maṇḍala）理解の一助に（棲神五二号）——備忘

ノート——

昭和五十五年三月

日蓮聖人の生死観（日本仏教学会年報四六号）近刊予定

◇ 社会活動

日蓮宗教学審議会委員

山梨県私学振興会理事

山梨県私学退職金財団理事

山梨県私学審議委員（二期）